

10:00 ▶ 10:05 **開会のご挨拶** K1-0 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

10:05 ▶ 11:05 **基調講演** K1-1 センチュリールーム

ベンチャー精神とやりくり経営による価値創造の展開

井上慎一は2011年にそれまで日本では全く前例の無かったLCCをゼロから試行錯誤を経て、Peach Aviationを立上げ、立上げ後も様々なアイデアと工夫で同社を成長軌道に乗せ、結果、ユニコーン企業にまで成長させました。2020年に全日本空輸(ANA)に戻った後も、Peach Aviationで培ったやりくり経営をANAにも展開し、数々の新たな価値創造を実現し、ANAグループの成長を牽引しています。

全日本空輸株式会社 代表取締役社長 **井上 慎一** 氏

12:40 ▶ 13:25 **ランチョンセッション** 松花堂弁当つき

AI Factoryの実現 L1-1 会場 ① 桃山A

～スケールアップ・スコープ拡大・知見蓄積

日本の製造業の場合、AIの導入はコスト削減が目標となっていることが多いです。一方、特に進んでいる海外の小売り業種では、AIはスケールアップ・スコープ拡大・知見蓄積を空前のスケールで実行することが目標です。本セッションでは、国内と海外のAI導入の考え方の差を紐解き、さらに海外と比べると特殊な事情を持つ日本の製造業では、どういった課題をどのように解決すればスケール・スコープ・学習にAIが寄与できるかを論じます。

横河デジタル株式会社 **鹿子木 宏明** 氏

生成AI×社内情報活用で新たな価値創出にチャレンジ L1-2 会場 ② 桃山B

社内にある膨大なナレッジやノウハウを持った担当者を簡単に見つけることができれば、もっと違った働き方ができるはず。生成AI×Gleanを活用した新たな価値創出に向けた取り組みをご紹介します。

ヤンマーホールディングス株式会社 **山根 寛司** 氏

株式会社アシスト **佐子 雅之** 氏

11:20 ▶ 12:20 **特別講演** K1-2 センチュリールーム

生成AI時代を勝ち抜くために。最新トレンドと企業での活用事例

生成AI時代を勝ち抜き、企業成長を加速させるためには何が必要か。生成AIの企業での利用実態から最新の技術トレンド、具体的な活用成功事例まで、今ビジネスリーダーが知っておくべき情報を1時間で解説します。講師は、年間400件以上の生成AI活用戦略やコンサルティングを手掛けるエクサウィザーズの常務取締役、大植が務めます。

株式会社エクサウィザーズ 常務取締役 **大植 択真** 氏

13:45 ▶ 14:45 **フォーラムセッション**

データの力を引き出す！ ～ビジネス革新への鍵 F1-1 会場 ① 桃山A

データの力を最大限に引き出し、会社や組織の競争力を高めるためにはどのようにアプローチすればよいでしょうか。データ活用、データドリブン経営の重要性に焦点を当て、IT部門がどのようにデータをビジネス戦略や業務に組み込み、組織全体の革新を促進しているか、メンバーの事例を通してご紹介し、皆様とディスカッションできればと思います。

進行役：
株式会社オカムラ **近藤 卓矢** 氏

株式会社JXP総研 **西端 恭一** 氏

株式会社ニコン **戸部 通宏** 氏

スクエアセッション

「くらしDIY」の実現を支えるカインズのデジタル戦略とシステム刷新への挑戦 S1-2 会場 ② 桃山B

伝統的な企業では、これまで積み上げてきた重厚長大で複雑化したシステムがあるため、新しい技術を使って新しい基盤に移行させることは容易ではありません。カインズでは2018年の「IT小売業宣言」以降、マイクロサービスの活用などでMDシステムやEC、店舗システムなどを再構築するプロジェクトを進めています。当講演では、カインズがどのようなコンセプトで根本的なシステムの刷新にチャレンジしているかをご紹介します。

モデレーター：
JUAS 組織力強化研究会 **池照 直樹** 氏

JUAS スクエア2024 プロデュース委員会 **入江 夕梨花** 氏

株式会社カインズ **池照 直樹** 氏

株式会社ディー・エヌ・エー **藤掛 直人** 氏

AI Platformのデジタルワークフローによって革新されるIT運用 L1-3 会場 ③ 天平

企業の成長におけるITの重要性は高まるばかりで、これまで以上にビジネス部門へ高品質なサービスのタイムリーな提供が求められています。その一方で高いサービスレベルを維持しつつ、サイバーセキュリティ、GRC対応と業務は増加の一途をたどります。本セッションでは、IT運用のベストプラクティスをパッケージ化し、新たにAIを拡充したAIPlatformによるExperienceをご紹介します。

ServiceNow Japan 合同会社 **三木 啓一** 氏

AIが変革するシステム開発 L1-4 会場 ④ 白鳳

～Autifyが考えるテストへの生成AIの活用とその未来～

AIが大きく注目されており、多方面の活用、生産性の向上が期待されています。特にシステム開発はその親和性から大きな改善ができると期待が寄せられています。生成AIを活用しているAutifyでは、200時間以上削減。結果が示すようにテストへ生成AIの活用とその未来において、Autifyがどのようにテストワークフローを変えられるのかをご紹介します。

Tably株式会社 **及川 卓也** 氏

オーティファイ株式会社 **近澤 良** 氏

基幹システム刷新の新常識とは L1-5 会場 ⑤ 平安

～AI導入の好機を逃さないために～

従来のERPは業務効率化や独自の商習慣に合わせて機能拡張が行われ、結果としてシステムが複雑化し運用が困難になるケースがありました。新時代では、このような課題に対処できるより柔軟で効率的なERPの構築が求められています。本講演では、アドオンに頼らないシンプルで使いやすいERPの構築や、ジャパナイズされたプロセス設計について考えと共に、ERP刷新時のAIプロダクト導入による効率化事例をご紹介します。

Miletos株式会社 **高橋 康文** 氏

15:05 ▶ 15:50 **コンサルティングセッション**

AIが切り拓くデータ管理・活用の未来 C1-1 会場 ① 桃山A

凄まじいAIの進化に皆様も驚かれていることでしょう。本講演ではこのAIを活用することで企業のデータ管理・活用がどう変わるかを考察します。AIの技術により、今まで扱にくかった非構造化データが扱えるようになり、データの処理が効率化され、視野が広がり、精緻な戦略立案が可能になります。これまで手付かずだった領域から新たな洞察や予測、ビジネスチャンスを引き出す次世代のデータ戦略について考えてみたいと思います。

株式会社電通総研 **松田 延** 氏

生成AIあれこれ C1-2 会場 ③ 天平

～実践例から学ぶ利用環境の勘どころとは？～

生成AIの進化が加速する中、企業では業務効率化や新しい価値創造において生成AIが大きな影響を与えています。一方で、利用に関する課題も多くの企業が抱えています。本セッションでは、企業の具体的な取り組み事例、自社で生成AIを構築するメリット・デメリットの解説、Azure OpenAIやCopilot、Microsoft 365との連携事例を通じて、最新技術の活用法をご紹介します。生成AIの最新動向とビジネスへの適用ポイントをご提案します。

三菱UFJニコス株式会社 **白滝 亘** 氏

IIMヒューマン・ソリューション株式会社 **関 マサエ** 氏

株式会社Almondo **伊藤 滉太** 氏

IIMヒューマン・ソリューション株式会社 **大塚 宏明** 氏

伊藤忠食品メインフレームOPEN化の取組と大きな落とし穴を避けるAIツール更新の最新情報 C1-3 会場 ④ 白鳳

メインフレームのメーカー撤退などで、これからOPEN化の大波が押し寄せて来ます。伊藤忠食品は大規模レガシーシステムのJAVA化とクラウド化を、OPEN化ラッシュの前に達成しました。責任者の波元本部長より成功例を紹介します。ソフトロードより、JaBOL、古いデータ構造・不可視などのレガシー要素を取り除き、真のOPEN化を実現するシステムリフォームを、落とし穴と照らし合わせ、説明します。

伊藤忠食品株式会社 **波元 英夫** 氏

株式会社ソフトロード **大橋 順二** 氏

ランサムウェアインシデントからの学びと復活の取り組み C1-4 会場 ⑤ 平安

～当事者が語る事故とその後～

昨年夏、弊社グループ本社がランサムウェアの被害に遭い、残念ながら「IPA10大脅威2024 第9位テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃」の事例に取り上げられました。当講演では、緊急対策本部において当事者としてインシデント対応に追われた講師が「インシデントからの学び」を「皆様の備え」として紹介し、二度と繰り返さないためのこの一年の取り組みを「復活の歩み」として、統制と技術と運用の側面から紹介いたします。

株式会社 アイ・アイ・エム **本間 将一** 氏

16:10 ▶ 17:10 **フォーラムセッション**

生成AIで何を実現するのか、IT部門の葛藤 F1-5 会場 ① 桃山A

OpenAIが2022年11月ChatGPTを公開したことで、生成AIが全世界で脚光を浴び始めました。そして既に2年弱が経過し、徐々に導入や試験運用が進んできています。しかし各社、効果の発揮方法ができてきているのか、導入や試験を行うものの、効率化や経営貢献まで効果がでているか、そうできる様に日々葛藤をしている企業が多いのではないのでしょうか。関西企業での事例紹介をするとともに、関西企業の生成AIの実際を探ってみました。

事例紹介：
西日本旅客鉄道株式会社 **小島 貴行** 氏

進行役：
京セラ株式会社 **平野 克幸** 氏

株式会社神戸製鋼所 **中尾 浩和** 氏

住友ゴム工業株式会社 **嶋谷 憲一** 氏

住友ファーマ株式会社 **土井 信明** 氏

関西電力株式会社 **巽 龍太** 氏

Mode1・Mode2領域における内製・外製、どうバランスさせていますか？ F1-6 会場 ② 桃山B

多くのITグループ会社では、深刻な人材不足の中で事業拡大を進めるべく、外注化も選択肢とした対応力強化が喫緊の経営課題となっています。一方、ビジネスのスピードに追従しグループ全体のDX推進に貢献するために、内製化を求められている会社が増えています。本セッションでは、ハイモダリティ(Mode1・Mode2)を軸に加え、メンバー各社が内製・外製のバランスをどう考え、取り組んでいるかを実際の事例を交えて共有します。5年後、10年後に向けた最適な姿と一緒に考えていきましょう。

進行役：
株式会社カジマアイシーティ **土肥 康則** 氏

第一生命テクノクロス株式会社 **尾田 実** 氏

株式会社大同ITソリューションズ **田畑 一徳** 氏

スクエアセッション

組織・人づくりで開く可能性の扉：未来からの逆算で進める全社一丸DX S1-7 会場 ④ 白鳳

自動車用部品を製造する老舗企業が「組織改革 × DX」で変革を遂げた実践談。製造現場への大投資と28種類のクラウドサービス活用で、約32億円だった年間売上を12.7億円も飛躍させた要因とは？サービス導入後の内部浸透と利用拡大の成功要因を、企業規模を問わない普遍的な成功のフレームとして提供し、参加者が新たな挑戦や組織改革へ踏み出すキッカケをお届けします。

株式会社リノメタル **荒金 賢治** 氏

株式会社リノメタル **竹下 知代美** 氏

モデレーター：
JUASスクエア2024 プロデュース委員会 **島村 和良** 氏

「生成AIファースト」による業務変革 S1-8 会場 ⑤ 平安

～デジタルを“乗りこなす”人材の育成～

セブン&アイ・ホールディングスでは、テクノロジーの積極活用を通じて、流通革新を主導する「食」を中心とした世界トップクラスのリテールグループになることを目指しています。実現に向けて、ITの専門知識を持たない社員も“生成AIファースト”でデジタルを乗りこなす人材となり、現場発のDXを実現することが重要だと考えています。「DX人材＝デジタルを乗りこなす人材」と位置づけ、その育成に関する取り組みを紹介いたします。

株式会社セブン&アイ・ホールディングス **齋藤 正記** 氏

モデレーター：
JUASビジネスデータ研究会 **西村 太輔** 氏


日清食品ホールディングス株式会社

17:30 ▶ 18:30 **ネットワーキングパーティ** K1-3 センチュリールーム

10:00 ▶ 10:05 **ご挨拶** K2-0 JUASスクエア2024 プロデュース委員会

10:05 ▶ 11:05 **基調講演** K2-1 センチュリールーム

新しい1歩を踏み出そう！



新規事業家
守屋 実氏

「新しい一歩を踏み出そう！」というタイトルに込めた想いを、30年余り新規事業一筋で歩んできた現場の現実、実体験に乗せてお話しさせていただきます。もっとも大事で、すべての起点となるみなさんの「意志」を、全力で押させていただき、実践に突入するためのキッカケの場と出来たらと思っています。意志ある先に道は拓ける。前に進む人の前に道は拓ける。where there is a will, there is a way. Just act on it!

12:40 ▶ 13:25 **ランチョンセッション**

生成AIの最新活用動向 L2-1
～導入フェーズからビジネス活用実践フェーズへ～ 会場 ① 桃山A

弊社では2023年2月に全社に生成AIチャットボットをリリース。週次レベルで機能エンハンスを繰り返し、社内実践知を高め、同年5月よりコンサルサービスを開始しました。当初、利用環境の導入や何に使えるかのユースケース探索の案件が多かったのですが、現在は具体的な業務変革や利活用を目指した実践にトライする案件が増えています。本セッションでは、多数の実践ケースから見てきた最新活用動向をご紹介します。

Ridgelinez 株式会社
伊藤 清隆氏


DXの「成功」に求められるセキュリティ・トランスフォーメーション(SX)の最前線 L2-2
会場 ② 桃山B

多くの企業が決して止むことのないサイバー攻撃により、事業継続停止へ容易に追い込まれる昨今、経営陣が問われる意思決定とは何でしょうか？国防機関を筆頭に、各種重要インフラ事業者、名だたる大規模組織が中長期的なセキュリティ戦略に基づき目指すTo-Be像(SX)とは何でしょうか？それはツールやサービスといった議論が中心ではありません。数多くの経営向けワークショップのフィードバックを元に、経営陣が「裸の王様」にならないためのベストプラクティスを解説します。

タニウム合同会社
檜原 盛史氏

11:20 ▶ 12:20 **特別講演** K2-2 センチュリールーム

生成AIの民主化
～オープンなテクノロジーで構築するエンタープライズAIの未来～



レッドハット株式会社
代表取締役社長
三浦 美穂氏

生成AIを活用したアプリケーションの導入は、多くの企業にとって大きな課題となっています。精度やコスト、導入ノウハウなど多くの問題に直面する中、オープンなテクノロジーを活用することで、生成AIの民主化を推進し、誰もが参加できる環境を構築することが重要です。本講演では、生成AIアプリケーションを構築するためのオープンなアプローチを紹介し、企業ユーザが自らチューニングやカスタマイズに参加できる方法について具体的に解説します。

13:45 ▶ 14:45 **フォーラムセッション**

データドリブン戦略の成功に向けて F2-1
会場 ① 桃山A

AI活用、データ分析や活用、言葉だけが先行していると思いませんか。データに基づく意思決定の重要性が謳われ、高い関心が寄せられる一方で、明確な目的が定まらない中、データ収集だけが先行するケースはないでしょうか。IT部門として、目的を定めデータの収集や分析を行い、真に有効活用するにはどうすればよいでしょうか。うまく活用できれば、かかるコスト以上に企業の競争優位性に資する方法があるはず。事例等をもとに、皆様と考えてまいります。

事例紹介：
東海旅客鉄道株式会社 日版テックシード株式会社
進行役：
SOMPOひまわり生命保険株式会社 電源開発株式会社 株式会社読売新聞東京本社
株式会社読売新聞東京本社
岩間 洋介氏 加藤 肇氏 吉澤 浩史氏 加瀬 義則氏 齋藤 滋之氏

VUCAの時代におけるITグループ会社の人材育成の課題と挑戦 F2-2
会場 ② 桃山B

事業会社でのDX推進が進む中、「我々ITグループ会社ではどのような人材を育成していくべきなのか」を新入社員育成、マネジメント層育成、DX人材育成の視点からバネラーに各社の事例紹介と議論を通して方向性を探っていきます。

事例紹介：
アサヒビジネスソリューションズ株式会社
進行役：
コベルコシステム株式会社
東出 崇紀氏 山崎 秀奈氏
株式会社J-POWER ニッセイ 株式会社 東京ガスiネット株式会社
ビジネスサービス 情報テクノロジー株式会社
伊藤 和雄氏 徳永 正志氏 石川 勝隆氏 山川 貴司氏

増加するシステム連携の運用管理工数を削減 L2-3
～現場で実現する内製化と自動化事例を紹介～ 会場 ③ 天平

既存システムの保守・維持の工数とコスト増加や、クラウドプラットフォームの普及によるデータ連携や統合の課題は続いています。このような状況下には企業がITリソース最適化やビジネスの俊敏性を高めるソリューションが役立ちます。本セッションでは改善のアプローチ方法、実現手段を事例を用いご紹介いたします。

リックソフト株式会社
大貫 浩氏

企業価値を向上させる「人事×財務データ」と「AI」の活用 L2-4
会場 ④ 白 鳳

変化の激しい経済環境では、人財が企業成長の源泉と言われていたが、企業価値向上には、経営戦略、人事戦略、財務戦略の連動が求められている。本セッションでは、どのように、人事ならびに財務データ基盤を統合的かつ効果的に活用して行くか、AIの活用も交えながら紹介します。

ワークテイ株式会社
小今井 裕氏

脱レガシー仮想化、マルチクラウド時代のデータ保護と事業継続 L2-5
会場 ⑤ 平 安

レガシー仮想化によるオンプレミス中心のインフラから脱却し、クラウド中心のインフラへの移行が加速しています。クラウド活用が進む一方で、新たなデータ保護および事業継続の課題がでてきています。ランサムウェア被害が増加する中、新たなクラウドデータ保護の導入が必要になってきています。マルチクラウド時代のデータ保護および事業継続の課題とその解決方法について解説いたします。

日本マイクロソフト株式会社 ヴィーム・ソフトウェア株式会社
窪田 正典氏 古舘 正清氏

スクエアセッション

中外製薬のDXを加速するマルチクラウド戦略とサイバーセキュリティ戦略 S2-3
会場 ③ 天平

ヘルスケア産業のトップイノベーターを目指す中外製薬は、DXをその実現に向けたキードライバーと位置付けています。DXを支える基盤はクラウド化が進み、研究開発から製造販売に至る全てのバリューチェーンで活用されており、一連のプロセスで生成される膨大なデータは安全かつ効果的に活用される事が求められています。本講演では、中外製薬のマルチクラウド戦略とサイバーセキュリティ戦略について具体的な事例をもとに解説します。

中外製薬株式会社
小原 圭介氏 山本 秀樹氏

クローズアップセッション

国内製造業を後押し！情報システムに携わる私達が今動く時 U2-4
～研究会の活動で変わる世界 会場 ④ 白 鳳

日本の製造業は属人化、高齢化、設備の老朽化など様々な課題に直面しており、デジタル技術とデータを活用した製造業DXの推進が急務です。当研究会では、経営者と現場の連携、DX推進資源の調達、スマートファクトリーとサイバーセキュリティなどのテーマを研究しています。研究過程で見えてきた重要な側面は「人の力」です。発信力、行動力、巻き込み力など、個々の力・小さな一歩が大きな潮流を生み出すことを実感しています。ぜひ本セッションで製造業DX推進の新たな視点を共有しましょう！

JUAS 製造業DX推進アプローチ研究会
味の素株式会社 西部電気工業株式会社
櫻井 望氏 松本 潤二氏

15:05 ▶ 15:50 **コンサルティングセッション**

交通インフラの未来へ C2-1
～JR東日本のサービス拡大とシステム品質を支える舞台裏～ 会場 ① 桃山A

ソフトウェアの複雑性と品質要求が増す昨今、ITシステムの品質戦略は重要性を増しています。本セッションではえきねっと、モバイルSuica、ビューカードやJREPOINTなど、JR東日本グループの各種サービスにおけるICTをリードするJR東日本情報システムのソフトウェアテストベンダーも活用した大規模かつミッションクリティカルなシステム品質を守る取り組みと、成功例についてご紹介いたします。

株式会社JR東日本情報システム パルテス株式会社 モデレーター：
吉川 真之氏 角田 誠氏 石原 一宏氏

Dataikuで解決するエンタープライズ企業のデータ課題：実践的アプローチと成功事例 C2-2
会場 ③ 天平

エンタープライズ企業が直面するデータサイロ、データ品質、AIモデルのスケラビリティ、データガバナンス、データサイエンスの民主化といった課題に加え、生成AIの活用についても取り上げます。ユニバーサルAIプラットフォームを用いた実践的なアプローチと成功事例を紹介し、これらの課題をどのように解決するかを明らかにします。

Dataiku Japan 株式会社
佐藤 豊氏

日本企業のDX推進に欠かせない「DAP」と「AI」の活用方法と事例を徹底解説 C2-3
会場 ④ 白 鳳

DX推進している企業は多数存在しますが、真の意味でDXに成功している企業は少なく、データの有効活用や業務効率化のためにシステムを導入しただけになっていることが多いのも事実です。実際に大企業の社員の79.2%は、利用している業務システムに不満やストレスを感じています。そこで今回は、真のDX推進を実現するために、米国内企業50%超が導入済みデジタルアダプションや生成AIを活用し、システムを最大限に活用できるノウハウや事例をお話しします。

テックタッチ株式会社
井無田 仲氏

大手を中心に採用進む「セキュアFAT PC」事例に学ぶVDIからの移行で得られたメリット C2-4
会場 ⑤ 平 安

PCの情報漏洩対策としてVDIを導入する企業は多い中、運用コストの増加やアクセス集中によるレスポンス遅延などの課題を抱えている企業も増えています。次世代クライアントとして「セキュアFAT」への移行を果たし、これら課題を解消したお客様の実例をご紹介します。

株式会社ZenmuTech
岡田 昌徳氏

16:10 ▶ 17:10 **フォーラムセッション**

増加するITコストにどう立ち向かうか？ F2-5
会場 ① 桃山A

事業会社の業務を支えるIT関連の投資は日々増加の一途を辿っています。ビジネスニーズの多様化によるシステムの増加、レガシーシステムのサポート切れ対応やその対策として移行したクラウドサービスの価格上昇、ITベンダーの単価上昇、為替影響、既利用製品の価格改定、従量課金の増加など、様々な要因が絡み合うコスト増に対してどのようなことに留意して対策すべきでしょうか。事例を交えてご紹介します。

事例紹介：
東京海上日動あんしん生命保険株式会社 株式会社 大成建設株式会社 日本コープ共済株式会社
富樫 夏樹氏 白井 俊二氏 安良岡 聖也氏

知りたい！ユーザー系IT会社におけるシニア層の役割と活躍のステージ F2-6
会場 ② 桃山B

ユーザー系IT会社においても、IT需要の高まりに対応できる人財の調達が厳しい状況にあります。定年退職や若手退職など、慢性的な要員不足の解消策として期待できるのが、シニア層の更なる活躍です。シニア層に求める役割や活躍のステージをどのように描いているのかなど、シニア層の知恵と経験を活かす新たな仕事の可能性を模索する内容となります。ぜひ、講演やディスカッションを通じて、成長と改革を目指す企業文化を共有しませんか？

進行役：
MSSADシステムズ株式会社 株式会社JALインフォテック FITEC株式会社
富田 昌幸氏 山口 嘉剛氏 田中 聡氏

スクエアセッション

ファッション企業におけるデータドリブンDX S2-7
会場 ④ 白 鳳

「GLOBAL WORK」や「niko and ...」など、30を超えるブランドを展開するファッション企業である株式会社アダストリア。本講演では、アダストリアの中期経営計画の柱である4つの成長戦略をドライブするためのDX戦略に焦点を当て、データドリブンでどのようにDXを推進しているのか、またデータや生成AIの具体的な活用事例を紹介いたします。

株式会社アダストリア
梅田 和義氏 石崎 翔氏

持続可能な物流を推進するメニュープライシング改革とその実現のためのIT部門の取り組み S2-8
会場 ⑤ 平 安

ユニリーバでは、持続可能な物流の推進を目指してメニュープライシングの改革を行い、トラック台数、CO2排出量、物流従事者様の作業時間削減を実現し、この取り組みが評価され、「サプライチェーンイノベーション大賞2023」において「大賞」を受賞しました。本セッションでは、この取り組みの内容と成果、今後の展望をご紹介します。この改革実現のためのIT部門のチャレンジと、それを支えるユニリーバITの組織やシステムについてもご紹介させていただきます。

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社
宮口 昌久氏 古賀 祐己氏 横山 智美氏 古田 洋一郎氏

17:30 ▶ 18:30 **総括パネル** K2-3 センチュリールーム

自ら描く新しい世界へ～あなたの歩みが未来をつむぐ～

社会環境が変わっていく中、将来に向けた事業や組織の未来像を描いていくために、企業は自身の在り方を再考し、変革していく必要があります。本セッションでは、私たち未来ビジネスフォーラムメンバーが取り組んでいる企業変革に焦点を当てながら、ご参加の皆様とその歩みを日本の未来に結びつけられるよう考えていきたいと思ひます。あなたも一歩踏み出してみませんか。



トラスコ中山株式会社
取締役 経営管理本部長
兼 デジタル戦略本部長
兼 オレンジブック本部長
名古屋大学 客員准教授
数見 篤氏



パナソニック ホールディングス株式会社
執行役員 グループCIO
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
代表取締役社長
玉置 肇氏



横河電機株式会社
執行役常務 (CIO)
デジタル戦略本部長
船生 幸宏氏



モデレーター：
一般社団法人
日本情報システム・ユーザー協会
専務理事
中島 昭能氏